

## 三十周年記念論文集刊行の辞

実行委員長 松井 喜代司

わが敬愛大学は平成8年7月20日に創立30周年記念式典を全校挙げての祝福のうちに盛大に挙行了した。殊に「21世紀に向けて、日本とアフリカ諸国との文化・教育を中心とした国際交流の在り方」の演題で、アフリカのヘソの国と称されるカメルーン共和国大使、ムバユ・フェリックス氏を招聘しての記念特別講演は誠に時宜を得たものであると信じている。

回顧すれば、本学が千葉敬愛経済大学として発足したのは、昭和41年4月のことであるが、昭和63年4月に大学名を敬愛大学に変更、その間、幾多の変遷はあったが、わが大学経済学部は常に時代の進運に伴って、学園の発展と共に堅実なる歩みを続けつゝ、今日の盛大を見るに至ったのである。これ全く創設者の長戸路政司先生、大橋主城先生の二大巨頭をはじめ、幾多の先輩諸先生並びに後援会諸賢各位、校友諸氏の努力の賜ものにあらざるはなく、誠に感謝に堪えざるところである。

さて、この記念論文集は大学の発展を祝福し、且わが敬愛大学経済学部の隆盛に絶大な貢献を寄与せられた先輩諸先生に感謝の念をこめて編纂刊行せる記念事業の一つでもある。われわれはこれを契機に一層の精進を続け、以て先輩諸先生のご期待に背かざらんことを誓うものである。終りに本論文集の出版に際して寄せられたる本学の諸教授の一方ならざるご援助、就中、経済学会編集委員長 中村善一教授を始めとする委員諸氏の特別な御尽力に深く感謝の意を表する次第である。